



2021.6.5 sat
at Tokyo Metropolitan Theatre
Concert Hall

TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

Subscription Concert 2021-2022

#154

Keitaro Harada
Conductor

PROGRAM | プログラム

フローレンティナー・マーチ / J.フチーク / M.L.レイク 編 / F.フェネル 校訂 [約5分半]
Florentiner March / Julius Fučík / arr. Mayhew L. Lake / Edited by Frederick Fennell

吹奏楽のための抒情的「祭」 / 伊藤康英 [約7分]
Festal Scenes / Yasuhide Ito

交響曲第1番《指輪物語》よりI・III / J.デ・メイ [約16分]
Symphony No. 1 The Lord of The Rings -I, III / Johan de Meij
第I楽章 / ガンドルフ〜魔法使い Gandalf (The Wizard) 第III楽章 / ゴクリ〜スメアゴル Gollum (Smeagol)

休憩 Intermission [20分]

ブルー・シェイズ / F.ティケリ [約10分]
Blue Shades / Frank Ticheli

古いアメリカ舞曲による組曲 / R.R.ベネット [約20分]
Old American Dances Suite Deluxe Edition / Robert Russell Bennett
I) ケークウォーク Cake Walk II) ショツティツシ Schottische
III) ウェスタン・ワン・ステップ Western One-Step IV) 壁の花のワルツ Wallflower Waltz V) ラグ Rag

ウェディング・ダンス / J. プレス / H. ジョンストン 編 / F. フェネル 校訂 [約3分]
Wedding Dance / Jacques Press / arr. Herbert Johnston / Edited by Frederick Fennell

美しきダウン川の堤よ土手よ / P.グレインジャー [約3分]
Ye Banks and Braes O' Bonnie Doon / Percy Aldridge Grainger

行進曲《ローリング・サンダー》 / H.フィルモア / F.フェネル 校訂 [約3分]
Rolling Thunder March / Henry Fillmore / Edited by Frederick Fennell

行進曲《ヒズ・オナー》 / H.フィルモア / F.フェネル 校訂 [約3分]
His Honor March / Henry Fillmore / Edited by Frederick Fennell

❗ 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承下さい。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮下さい。

東京佼成ウインドオーケストラでは、政府・各自治体およびホールの方針に基づき、最大限の感染予防と拡大防止のための対策を実施した上で、本公演を開催いたします。詳細につきましては、当団オフィシャルサイト掲載の《【重要】感染症予防対策についての取り組みとお願い》をご覧ください。

本公演に関する
アンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール

原田 慶太楼
Keitaro Harada
Conductor



©Shin Yamagishi

原田慶太楼は現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。シンシナティ交響楽団およびシンシナティ・ポップス・オーケストラ、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンから、アメリカジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニックの音楽 & 芸術監督に就任。

オペラ指揮者としても実績が多く、アリゾナ・オペラやノースカロライナ・オペラに定期的に出演、シンシナティ・オペラ、ブルガリア国立歌劇場でも活躍。

10年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、13年ブルーノ・ワルター指揮者プレビュー賞、14・15・16・20・21年米国ショルティ財団キャリア支援賞受賞。09年ロリン・マゼール主催の音楽祭「キャッソルトン・フェスティバル」にマゼール本人の招待を受けて参加。11年には芸術監督ファビオ・ルイーの招聘によりPMFにも参加。

85年東京生まれ。インターロックン芸術高校音楽科において、指揮をF.フェネルに師事。

オーケストラやオペラのほか、室内楽、バレエ、ポップスやジャズ、そして教育的プログラムにも積極的に携わっている。

2021年4月より東京交響楽団正指揮者に就任した。

<http://kharada.com/> Twitter: @KHconductor

PROGRAM NOTES | 曲目解説—富樫鉄火(音楽ライター)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

“直弟子”が奏でるフェネルゆかりの名曲群

本日のマエストロ、原田慶太楼は、小学校の時に《ウェスト・サイド・ストーリー》に感動し、さらに須川展也のCDなどを聴いているうちに、サクソフォン奏者を目指すようになったという。やがてミシガン州にあるインターロッケン芸術高校に入学、吹奏楽部に所属したら、顧問が、なんとフレデリック・フェネル(1914～2004)だった。いうまでもなく、イーストマン・ウインド・アンサンブルの創設者で、TKWOの常任指揮者としても多くの名演、名録音を残した巨匠である。

このときフェネルは、すでにTKWOの桂冠指揮者となっていたが、原田はその強烈なオーラに惹かれ、指揮者を目指して指導を受けるようになる。高校2年の時には、フェネルが指揮する野外コンサートでアンコールを託された。

その日から20年余の歳月が流れた。人気指揮者として日米で引っ張りだことなった原田が、本日、TKWOのステージに立つ。かつてフェネルとともに、数々の名演を生んできたTKWOを、“直弟子”が指揮するのだ。しかも、曲目のほとんどは、フェネルゆかりの名曲である。天上のフェネルに見守られながら、どんな響きを聴かせてくれるのか、楽しみである。

J.フチャー／M.L.レイク 編／F.フェネル 校訂 フローレンティナー・マーチ

1982年3月27日、TKWOの第30回定期演奏会(新宿文化センター)に、あるアメリカ指揮者がゲスト・コンダクターとして登壇した——フレデリック・フェネル、このとき68歳。彼が、この日、第1曲目に演奏したのが本曲だった。つまり、フェネルとTKWOの共演は、本曲からはじまったのである。

このとき、フェネルはTKWOのレベルの高さに驚き、団員たちはフェネルの知識と力量と人柄に惚れこんでしまった。かくしてTKWOはフェネルを正式に招くことを決定し、1984年3月、常任指揮者に就任するのである。

そんな記念すべき曲が、本日の第1曲目に選ばれた。

作曲者、ユリウス・フチャー(1872～1916)は、チェコの作曲家。大量の軍隊隊用マーチを作曲したことから“ボヘミアのスーザ”などとも称される。作曲はドボルザークに師事した。《剣闘士の入場》が世界中のサーカスで使用されて、一躍知られるようになった。

本曲は1907年作曲。作曲時は《トスカーナのバラ》と題していたが、出版時に“フィレンツェ行進曲”と改題された。品がある落ち着いた曲想で、当初題のほうがふさわしいような、美しいマーチである。

伊藤康英 吹奏楽のための抒情的「祭」

海上自衛隊大湊音楽隊(青森県むつ市)の委嘱で作曲され、1986年、同隊の第10回記念定期演奏会で初演された。その後、イリノイ大学バンドがアメリカ初演、ボストンでのWASBE(世界吹奏楽大会)で米空軍バンドが演奏するなど、あっという間に日本を代表する吹奏楽曲として海外で知られ、米TRNミュージックより出版された。

曲は、青森県の民謡《津軽じょんがら節》《津軽オーハイ節》《津軽あいや節》《弘前ねぶた》などが素材となっている。作曲者自身は「民謡のにぎやかなモチーフの集まりであるこの作品に、私は一種の『祭』の縮図を見る思いがした。そし

て、聖と俗との混沌の中で、この『祭』は抒情性を極めるのであった」と記している。純日本の、しかも青森の響きを、西洋音楽の語法で見事に表現した名曲である。

作曲者、伊藤康英(1960～)は、東京芸術大学大学院作曲専攻修了。吹奏楽のための交響詩《ぐるりよざ》や、コンクール課題曲《管楽器のためのソナタ》(1996年度)など、幅広い作品で知られる。TKWOにもオリジナル曲、編曲を多く提供している。

J.デ・メイ 交響曲第1番《指輪物語》よりⅠ・Ⅲ

原案は、イギリスの言語学者J.R.R.トールキン(1892～1973)のファンタジー文学。異世界「中つ国」を舞台に、世界を滅ぼす「一つの指輪」をめぐり、様々な種族が争奪戦を繰り広げる。指輪は最終的に火山に投げ込まれて廃棄されるのだが、この指輪が「核兵器」の暗喩と解釈され、欧米の若者たちの間で聖典のような読まれ方をした。イギリスでは「20世紀最大の書物」の一冊に選ばれ、熱狂的なファンが世界中にいる。2001～03年にかけて『ロード・オブ・ザ・リング』3部作として映画化もされた。

その小説を吹奏楽曲にしたのが本曲。オランダの作曲家ヨハン・デ・メイ(1953～)による、事実上のデビュー作である。1988年3月にベルギーで初演され、翌年にサドラー国際吹奏楽作曲賞を受賞した。楽章ごとに特定のキャラクターや場面を描き、全曲を通して原作のストーリーが再現される、たいへん凝った構成になっている。オリジナルは全5楽章、約45分を要する大曲だが、本日は第1楽章と第3楽章が演奏される。

第1楽章 ガンドルフ～魔法使い

物語の幕開けを告げるファンファーレに続いて、主要キャラクターの一人、魔法使いガンドルフが描かれる。白く長い顎髭、三角帽子という典型的な魔法使いの姿で、小さなホビット族たちとともに、指輪廃棄の旅に出る。かつてアメリカで、「ガンドルフを大統領に」との反戦スローガンが流行したほどの人気キャラである。曲は、まさに迫真描写の連続。特に馬の疾走シーンは、映画音楽を上回る迫力である。

第3楽章 ゴクリ(原名GOLLUM)～スメアゴル

ゴクリは、もともとホビットの関連種族スメアゴルだったが、指輪の魔力によって醜い外見の「悪鬼」になり、心まで病んでしまった。ところが指輪廃棄に最後まで絡む重要キャラクターのせいか、意外とファンが多い。曲は、ソプラノ・サクソフォンの不気味なソロに、後半ではイングリッシュ・ホルンやトロンボーンも絡み、悪鬼ながらどこか滑稽で哀れな性格が描かれる。

なお彼の名前は原文ではGOLLUM(ゴラム＝唾を呑み込む音)だが、日本では、訳者・瀬田貞二(理論社版)によって「ゴクリ」に変更されている。

F.ティケリ ブルー・シェイズ

アメリカの人気作曲家、フランク・ティケリによる、シンフォニック・ジャズの傑作。1996年に、30の高校・大学バンドの合同委嘱で書かれた。

ティケリは演奏者向けに、自作解説をていねいにおこなうひとで、それによれば、本曲は、〈冒頭〉～〈主要テーマ〉～〈クライマックス〉～〈ダーク&ダーティ〉～〈クラリネット・ソロ〉～〈ファイナル・シャウト〉の6部から構成されている。

曲名にあるように「ブルース」の影響を受け(ただし、特に本格的なブルース進行は使用されていない)、初期のニューオリンズ・ジャズや、スウィング時代を彷彿とさせるクラリネット・ソロなど、幅広い「ジャズ」の要素を取り入れ、咀嚼して書かれている。

フランク・ティケリ(1958～)は、南カリフォルニア大学教授もつとめている。2006年に《交響曲第2番》で、ウィリアム・レベール作曲賞を受賞した。高難度の曲も多いが、スクール・バンド向けの平易なアメリカ民謡編曲も多く、幅広い層に愛好されている作曲家である。TKWOも《アメリカン・エレジー》や《クラリネット協奏曲》などを定期で取り上げており、本曲も2度目の登場となる。

R.R.ベネット
古いアメリカ舞曲による組曲

1949年に、ゴールドマン・バンドが、ニューヨーク、セントラル・パークでの野外コンサートで初演。大好評で、管弦楽版にもなったが、なんといっても、1953年にフレデリック・フェネル指揮／イーストマン・ウインド・アンサンブルによる世界初の商業録音(マーキュリー・レーベル)で知られるようになった。

TKWOは、早くも1969年9月の第10回定期演奏会で取り上げている(日比谷公会堂にて、宇宿允人指揮)。もちろん、のちにフェネルもTKWOで演奏しており、リハーサルで実際に踊りを披露したとの伝説がある。

作曲者、ロバート・ラッセル・ベネット(1894～1981)は、アメリカの作曲家。映画・放送音楽からオペラ、ヴァイオリン協奏曲、ピアノ協奏曲、吹奏楽曲など、あらゆる音楽を書きまくったオールマイティ。日本ではほかに、交響的絵画《ポーギーとベス》が知られている(吹奏楽版と管弦楽版があるが、内容は別)。映画『オクラホマ!』(1955)では、アカデミー・ミュージカル音楽賞を受賞している。

本曲は、ベネットが若いころから親しんだダンスホールや遊園地の音楽をもとに、5曲で構成されている。

- I) ケークウォーク……………風変わりな歩き方のダンス。
- II) ショッティッシュ……………ゆったりしたポルカ風のダンス。
- III) ウェスタン・ワン・ステップ……………生き生きとした西部の社交ダンス。
- IV) 壁の花のワルツ……………ダンスの相手がいない女性(壁の花)に捧げるダンス。
- V) ラグ……………シンコペーションで弾むようなダンス。

J. プレス／H. ジョンストン 編／F. フェネル 校訂
ウェディング・ダンス

前記、フェネルとTKWO初共演の第30回定期演奏会で、アンコールに演奏された曲。事実上、フェネルが発掘して広めたような曲で(1981年、全米吹奏楽指導者協会の総会におけるフェネルの演奏で一躍有名に)、レコーディングやアンコールでも何度となく取り上げている。

作曲者、ジャック・プレス(1903～1985)はグルジア(現ジョージア)に生まれ、前半生をパリで、後半生をアメリカで過ごした作編曲家。作曲はナディア・ブーランジェに学んだ。仕事の多くは映画音楽だったが、オリジナル曲も多い。

本曲は、管弦楽用の交響組曲《ハッセネ》(ヘブライ語で「結婚」の意)のなかの1曲で、典型的なクレズマー風(ユダヤ系)の祝祭音楽。粗野と品格が入り混じったような熱い音楽である。原曲はいまではほとんど演奏されないが、この吹奏楽版だけは、楽譜の出版が途切れることなく、いまでも演奏されつづけている。近年は、クラリネット・アンサンブル版も出版され、アンサンブル・コンテストなどで人気がある。もちろん、すべてフェネルの功績である。

P.グレインジャー
美しきドゥーン川の堤よ土手よ

フェネルが生前最後にTKWOを指揮した曲。2002年12月、シカゴで開催されたミッドウエスト・クリニックの最終公演、

アンコールで演奏された。感動で涙をこらえながら演奏した団員もいたと伝えられている。

原曲は、スコットランド民謡。《蛍の光》《故郷の空》などで知られるスコットランドの大詩人ロバート・バーンズ(1759～96)が詩をつけ、さらに広まった。「川の堤は美しいのに、なぜ私はこんなに苦しむのか」と嘆く失恋の歌である。ドゥーン川は、スコットランドのエアシャイア地方を流れる河川。

本曲は、この民謡を、《リンカンシャーの花束》などでおなじみ、パーシー・グレインジャー(1882～1961)が吹奏楽に編曲したもの。グレインジャーはこの曲が大好きだったようで、ほかにも合唱版やピアノ版など、数種類のヴァージョンに編曲している。じっくりと展開する美しいバラードだが、原曲の民謡は意外とにぎやかに歌われる。

本曲の原題はスコットランド古語が混じっているため、昔から邦題も混乱していた。直訳すると「汝、愛しきドゥーン川、そのほとりの堤と土手よ」みたいなニュアンスになるのだが、古い唱歌集などでは「美しきドゥーン川の岸边」、また吹奏楽曲としては「イエ・バンクスと…」が多かった。

なお、ラヴェルの歌曲《民謡集》～(スコットランドの歌)が、本曲そのものである。スペインのフェルナンド・ソルはこの旋律によるギター変奏曲を書いている。

H.フィルモア／F.フェネル 校訂
行進曲《ローリング・サンダー》

ここからの最後の2曲も、フェネルが、特にアンコール・ピースとして愛したフィルモアの名マーチである。

作曲者、ヘンリー・フィルモア(1881～1956)は、アメリカのバンド・リーダー。彼が生まれ故郷のシンシナティで編成したシュライナーズ・テンプル・バンドは、スーザ・バンド以後では、アメリカでもっとも人気のある吹奏楽団だった(いまでも同地にはセミプロの「フィルモア・ウインド・バンド」がある)。

本曲は1916年作曲。フィルモアが得意としていた「スクリーマー」(サーカス・マーチ)の代表曲。当時、アメリカではサーカスが大人気で、どここのサーカス団もレベルの高いバンド(吹奏楽団)を抱えていた。そこで作曲家たちは、こぞって高難度のスクリーマーを書いた。本曲もそのひとつ。フィルモアはトロンボーン奏者でもあったので、本曲も「トロンボーン・エース」と称された名奏者、エド・ヒッカーに献呈されている。そのせいか、本曲は「トロンボーン史上最高難度マーチ」の声さえある。

ちなみに、TKWOが所蔵する本曲スコアの表紙には、英文曲名の下に、フェネルの筆跡で「Raimei」「Kaminari」と書き込まれている。

H.フィルモア／F.フェネル 校訂
行進曲《ヒズ・オナー》

本曲も、フェネルが生前最後にTKWOを指揮した曲のひとつ。前記、2002年12月のミッドウエスト・クリニックの最初の公演でアンコール演奏された。もちろん、それまでも何度となく演奏・録音しており、ほとんどフェネルのトレード・マークのような曲である。

曲名《ヒズ・オナー》(彼の名誉)の「彼」とは、1930～37年にシンシナティ市長をつとめたラッセル・ウィルソン(1876～1946)のこと。4期連続当選を果たした人気者で、ユーモアあふれる演説が有名だった。当時、フィルモアも生まれ故郷シンシナティで自分のバンドを運営しており、ウィルソン市長のファンだったようだ。1933年、シンシナティ動物園の野外コンサートで初演された。サーカス用に書かれた曲ではないが、曲想としては、明らかにスクリーマー。明るくて楽しい主旋律、美しいトリオ部、華麗なオブリガート——スーザの名曲群と肩を並べる、コンサート・マーチの傑作である。

なお、本曲をフェネルが愛したことは前述のとおりだが、TKWO定期演奏会の正式プログラム曲として演奏されるのは、本日が初めてである(地方公演や特別公演を除けば、すべて「アンコール演奏」だった)。しかも最終曲。原田慶太楼が、いかに本曲を、そしてフェネルを敬愛していたかが伝わってくるだろう。

〈敬称略〉

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年(昭和35年)5月、立正佼成会附属の「佼成吹奏楽団」として発足、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称した日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人々が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、テレビ・ラジオに出演し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

2020年に楽団創立60周年を迎え、同年1月より大井剛史が正指揮者、トーマス・ザンデルリンクが特別客演指揮者、飯森範親が首席客演指揮者、藤野浩一がポップス・ディレクターに就任。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者……………フレデリック・フェネル
正指揮者……………大井剛史
特別客演指揮者……トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者……………飯森範親
ポップス・ディレクター……………藤野浩一

指揮……………原田慶太楼
演奏……………東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo……………丸田悠太	Trumpets……………奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
Flutes……………前田綾子(Piccolo)、	本間千也 [*] 、河原史弥、
白石法久(Piccolo)	阿部一樹、間間健太
Oboes……………宮村和宏 [*] 、宮川真人(EnglishHorn)	Horns……………上原宏、堀風翔 [*] 、小助川大河、
Bassoons……………福井弘康、君塚広明	葛西亮、木村淳
Clarinet in E♭……………松生知子	TenorTrombones……………今村岳志 [*] 、石村源海、上田智美
Clarinet in B♭……………小倉清澄、大浦綾子、林裕子 [*] 、	BassTrombone……………佐藤敬一朗
亀居優斗、木内倫子、佐藤拓馬、	Euphoniums……………岩黒綾乃、齋藤充
徳武敦、野田祐太郎、福井萌	Tubas……………近藤陽一、横田和宏
AltoClarinet……………瀧本千晶	Contrabass……………前田芳彰
BassClarinet……………有馬理絵 [*]	Timpani……………坂本雄希 [*]
ContraBassClarinet……………原浩介	Percussion……………秋田孝訓、渡辺壮、和田光世、
AltoSaxophones……………田中靖人(SopranoSaxophone) [*] 、	木下卓巳、久米彩音、松下真也
林田祐和、完戸吉由希	Piano……………小笠寺美樹
TenorSaxophone……………松井宏幸	
BaritoneSaxophone……………板尾克樹	

(※＝演奏委員)

名誉楽団長……………庭野光祥	マネージャー……………遠藤敬、井小萩浩之
楽団長……………林總太郎	ステージマネージャー……………今井慎吾、勝川本久
佼成文化協会長……………菅野泰正	ライブラリアン……………羽田紀子
コンサートマスター……………田中靖人	制作……………久保慶恵
副コンサートマスター……………宮村和宏	パーソナルマネージャー……………富田真里那
インスペクター……………堀風翔	総務……………牧野正純、佐原由起、勝川本久
企画委員……………原浩介	広報……………遠藤敬、荻沼美帆、今村俊博
	チケットサービス……………荻沼美帆
	庶務……………出塚和良、小野寺龍一、石川済
	経理……………水本孝枝

Gold Members

サポーターズクラブゴールド会員(3口以上)の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2021年5月31日現在)

アシストジャパン	永瀬 敬至	古沢 秀明
佐々木 潤	平山 博通	横田 陽一
中江 亮	ピロッタ真緒	

PR Supporters

PRサポーターの皆さま

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

店舗等一覧

敬称略で掲載させていただいております。(2021年5月31日現在)

アル音楽教室	(株)池袋音楽学院
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター	(株)CAFUAレコード
ブレーン(株) 広島本社	吹奏楽webマガジン「Band Power」
ブレーン(株) 東京支社	吹奏楽専門ショップ「Band Power」
(株)管楽器専門店タク	大江戸シンフォニックウィンドオーケストラ
ミュージックスクール「ダ・カーポ」	ドレミファクトリー
(株)セントラル楽器	フルート専門店テオバルト
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎	アトリエ・エム株式会社
管楽器雑貨専門店pitch	イシバシ楽器 横浜店
ザ クラリネット ショップ	フォルテ・オクターヴハウス
新潮講座・神楽坂教室	葡萄房 by THE CAMEL
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京	やしろ食堂
(株)永江楽器水戸	吹奏楽酒場「宝島。」
野中貿易(株)	金寿司
(株)ヤマハミュージックリテイリング 横浜店	フローリスト花六
宮地楽器 小金井店 ANNEX	中華 大橋

個人のお客様

渡邊 直子	樫野 哲也
-------	-------

PR
サポーター
とは?

東京佼成ウインドオーケストラではPRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか?
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)
ご協力頂ける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

TKWO オリジナルグッズ好評販売中!

Original goods

新商品
登場!

ほかにも多くの商品を
ご用意しております。
ご購入・詳細はこちら



右肩部分

新オリジナルTシャツ

各1着 2,500円(税込)

会場限定/各1着 2,300円(税込)



オリジナルブラボータオル

1枚 1,700円(税込)

会場限定/1枚 1,500円(税込)

◎サイズ:34×86cm ◎素材:綿100% 今治産
国内で生産された今治産タオルに
「BRAVO」がプリントされています。

※サポーターズクラブ会員の方はWEBからでも、会場限定価格でご購入いただけます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra



会員募集中

SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)はあなたのウインドオーケストラです!!
TKWOをもっと身近に感じて応援する仲間になりませんか?
サポーターズクラブに入会して、もっとTKWOの音楽を
より多くの皆さんに届けられるように活動を支えてください!

詳細はこちら



好評
販売中!東京佼成
ウインドオーケストラ
60年史

1960年、たった「15名」で始まった吹奏楽団が、
いかにして世界最高の響きを奏でるようになったのか。
定額演奏会、レコーディング、楽譜作品を含む全活動記録。そしてドキュメントまで。

完全永久
保存版!

定価: 3,080円 (税込/本体2,800円+税)

四六判(本文132mm×191mm)/丸背厚表紙/384頁
ISBN 978-4-10-910188-2

世界中の音楽愛好家へ捧ぐ完全永久保存版!

東京佼成ウインドオーケストラ60年史

世界に誇るスーパーアンサンブル集団のすべてが凝縮
いま初めて紐解かれる、秘められた驚愕のエピソード
1960年、たった「15名」で始まった吹奏楽団が、
いかにして世界最高の響きを奏でるようになったのか。



全国有名書店、
および東京佼成ウインドオーケストラ事務局で
お求めいただけます。

◀詳細はオフィシャルサイトをご確認ください。

結成3年目、第1回定期演奏会の模様。
1963(昭和38)年3月10日、杉並公会堂
にて。指揮は、創設者のひとり、河野貴
造・副楽長。この日は、ロッシーニ《セビ
リヤの理髪師》序曲、チャイコフスキー《ス
ラブ行進曲》などが演奏された。

東京佼成ウインドオーケストラ

TOKYO
KOSEI WIND
ORCHESTRA

第155回 定期演奏会 #155 Subscription Concert

主題と変奏/A.シェーンベルク

交響曲 第3番/V.ジャンニーニ

パッサカリア/A.リード

交響曲 第3番
/A.リード

指揮
大井剛史(正指揮者)
Takeshi Ooi, Conductor

9 | 23

2021
THU開演: 14:00
(開場: 13:00)東京芸術劇場 コンサートホール
〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 TEL: 03-5391-2111(代表)チケット料金
(全席指定・税込)

S席¥6,000 A席¥4,500 B席¥3,500 C席¥1,500

各種割引 S60割引 ¥3,600 U25割引 ¥2,000

(TKWOチケットサービスのみでの取扱) 団体・車いす・身体障害者手帳をお持ちの方には割引がございませぬ。※割引の併用はできません。

チケットの
お申し込み

▶東京佼成ウインドオーケストラチケットサービス

TEL.0120-692-556 (9:30-16:30/土・日・祝を除く)
FAX.03-5341-1255 メール: ticket@tkwo.jp

▶WEBチケットサービス

※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00

▶プレイガイド

●チケットぴあ[Pコード: 192-884] ●ローソンチケット[Lコード: 33449]
●e+ (イープラス) ●東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

「ゆったり席」
新設!

2021-2022シーズンは、一部、
左右空席を設けた「ゆったり席」を
新たにご用意しました!

1回券 [通常料金+500円]
にて販売いたします。

お取り扱い:
TKWOチケットサービス

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしません。※新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに基づき、配席変更となる場合がございます。

主催: 佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ
後援: 一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、公益財団法人日本音楽教育文化振興会、
一般社団法人日本管打・吹奏学会、一般社団法人日本吹奏楽普及協会、日本コロムビア株式会社、株式会社テレビマンユニオン、
公益財団法人としま未来文化財団

東京佼成ウインドオーケストラ事務局
TEL 03-5341-1155
https://www.tkwo.jp/

2021-2022

定期演奏会スケジュール

第155～157回 定期演奏会

▶ 場所：東京芸術劇場コンサートホール

▶ 開演：14:00(開場:13:00)

第155回 | 2021年9月23日(木・祝)

指揮：大井剛史(正指揮者)

- 主題と変奏/A.シェーンベルク ●パッサカリア/A.リード
 - 交響曲 第3番/V.ジャンニーニ ●交響曲 第3番/A.リード
- 会員先行：2021年7月21日(水) / 一般発売：2021年7月28日(水)



©Atsushi Yokota

第156回 | 2021年11月23日(火・祝)

指揮・クラリネット：ポール・メイ

- ローマの謝肉祭/H.ベルリオーズ/仲田 守 編
 - クラリネットのための軍隊協奏曲/C.ベールマン/大橋晃一 編
 - クラリネットのための第1狂詩曲/C.ドビュッシー/稲垣卓三 編
 - 交響曲 第3番 オルガン付き/C.サン・サーンス/大橋晃一 編
- 会員先行：2021年9月8日(水) / 一般発売：2021年9月15日(水)



©Shin Yamagishi

第6回 大阪定期演奏会 | 2021年11月24日(水)

▶ 場所：ザ・シンフォニーホール
▶ 開演：19:00(開場:18:00)

指揮・クラリネット：ポール・メイ 曲目・出演者は第156回と共通

チケット好評販売中

第157回 | 2022年2月26日(土)

指揮：飯森範親(首席客演指揮者)

- 献呈序曲/C.ウィリアムズ
 - アルメニアン・ダンス Part I, II/A.リード
 - TKWO委嘱作品(世界初演)/長生 淳
 - 交響曲 第1番「アークエンジェルズ」/F.チェザリーニ
- 会員先行：2021年12月15日(水) / 一般発売：2021年12月22日(水)



©山本祥

主催

佼成文化協会 東京佼成ウインドオーケストラ

後援

一般社団法人全日本吹奏楽連盟

東京都吹奏楽連盟

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

一般社団法人日本吹奏楽普及協会

日本コロムビア株式会社

株式会社テレビマンユニオン

公益財団法人としま未来文化財団

<https://www.tkwo.jp/>

